

秀吉の政策と桃山文化

1 / 1

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

今日の問い

秀吉は海外とどう向き合い、この時代にはどんな文化が栄えたのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 秀吉の対外政策と朝鮮侵略

朝鮮侵略

パテレン追放令

1587年、秀吉が宣教師に国外退去を命じた命令。

文禄の役・慶長の役

1592年と1597年の、秀吉による2度の朝鮮侵略。

李舜臣

朝鮮水軍を率いた将軍。「りしゅんしん」とも読む。

秀吉は、はじめはキリスト教の布教を認めていたが、その広がりを警戒し、1587年に**パテレン追放令**を出して、宣教師(パテレン)に国外へ出ていくよう命じた。しかし、利益の大きい南蛮貿易は続けたため、キリスト教の禁止は徹底しなかった。

秀吉は明(中国)の征服をめざし、1592年に朝鮮へ大軍を送った(**文禄の役**)。朝鮮の民衆の抵抗や、**李舜臣**が率いる水軍、明の援軍に苦しみ、1597年に再び出兵した(**慶長の役**)が、1598年に秀吉が死ぬと軍は引きあげた。2度の侵略は朝鮮に大きな被害を与え、日本の大名にも重い負担となった。

このとき日本に連れてこられた朝鮮の陶工たちによって、有田焼(佐賀県)などのすぐれた焼き物づくりが始まった。

2 桃山文化

豪華な文化

狩野永徳

「唐獅子図屏風」などを描いた画家。

千利休

わび茶を完成させた茶人。信長・秀吉に仕えた。

出雲の阿国

かぶき踊りを始めたといわれる女性。

信長・秀吉の時代には、大名や大商人の権力と富を背景に、豪華で力強い**桃山文化**が栄えた。姫路城のように、高い**天守**をもつ壮大な城が築かれ、城の内部は、金箔を使ったはなやかな**障壁画**でかざられた。**狩野永徳**の「唐獅子図屏風」はその代表作である。

茶の湯は大名や大商人の交流の場として流行し、堺の大商人出身の**千利休**が、質素で静かな趣を重んじる**わび茶**を完成させた。**出雲の阿国**が始めたといわれる**かぶき踊り**は、のちの歌舞伎のもとになった。また、南蛮貿易によってヨーロッパの文化(**南蛮文化**)も伝わり、カステラやパン、カルタなどが広まった。

分野	代表
建築・絵画	天守のある城、狩野永徳の障壁画
茶の湯	千利休のわび茶
芸能	出雲の阿国のかぶき踊り

問いへの答え

秀吉はキリスト教の広がりを警戒してパテレン追放令を出したが、南蛮貿易は続けた。また明の征服をめざして2度朝鮮に軍を送ったが、李舜臣の水軍や明の援軍に苦しみ、秀吉の死で引きあげた。この時代には、大名や大商人の富を背景に、天守のある城や狩野永徳の障壁画、千利休のわび茶など、豪華で力強い桃山文化が栄えた。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

